

第23回世界スカウトジャンボリー(23WSJ)日本派遣団 参加者募集要項(IST第3次)

第23回世界スカウトジャンボリー(23WSJ)は2015年に山口県山口市阿知須きらら浜で開催される。日本からの参加者は、日本派遣団の一員として、またホスト国連盟の参加者として23WSJに参加する。

参加者は、様々な大会プログラムに取り組むことにより、大会テーマである「和」の精神を体得する。また、世界スカウト機構(WOSM)に正式加盟している162の国と地域からの参加者と親善交歓をはかり、国際交流と国際理解を深める。外国参加者には、日本の参加者からの様々なサポート等により、日本への関心と理解を深める機会とする。

1. 募集事業： 第23回世界スカウトジャンボリー日本派遣団
(23WSJ: 23rd World Scout Jamboree)

2. テーマ： 「和」 WA: a Spirit of Unity

3. 参加期間： 2015年(平成27年)7月25日(土)～8月9日(日)16日間(全日程IST)

*大会期間は、7月28日(火)～8月8日(土)12日間

*開会式は7月29日(水)、閉会式は8月7日(金)

*ISTトレーニングは7月26日(日)午後から27日(月)終日を予定し、交替参加、部分参加、遅参参加者には別途トレーニングが実施される

4. 派遣先： 山口県山口市阿知須きらら浜

5. 募集人員： 国際サービスチーム員(IST)は、第2次募集までの内定者を含み最大3千人を募集する。大会本部各部の役務と配属希望役務については、「ISTカタログ」を参照のこと。

6. 派遣団： 日本派遣団の参加隊を含み最大7千人規模を予定する。

7. 派遣日程：

ISTを含む大会運営スタッフは7月25日(土)に会場着、8月9日(日)に会場発を標準とする

7月25日(土) IST・JPT・JDT・JCT・JMT等大会運営スタッフ入場

7月26日(日) 一部外国IST入場(午前まで)・ISTトレーニング

7月27日(月) ISTトレーニング・日本参加者入場

7月28日(火) 外国参加者入場(一部日本参加者入場)

7月29日(水) 外国参加者入場(午前まで)・設営・開会式

7月30日(木) プログラム(モジュール)

7月31日(金) プログラム(モジュール)

8月1日(土) プログラム(モジュール)

8月2日(日) プログラム・全体行事

8月3日(月) プログラム(モジュール)

8月4日(火) プログラム(モジュール)

8月5日(水) プログラム(モジュール)

8月6日(木) プログラム(モジュール)・各国連盟代表広島平和記念式典参加

8月7日(金) プログラム(モジュール)・閉会式

8月8日(土) 外国参加者退場(一部日本参加者退場)

8月9日(日) 日本参加者退場・大会運営スタッフ退場



8. 参加日程の特例：

23WSJ開催国連盟として、大会運営と各国からの参加者へのホストを行うため、世界スカウト機構（WOSM）との調整に基づき、日本派遣団では次のとおり参加日程の特例を設ける。

(1) 特例の対象

国際サービスチーム員（IST）が対象で、事前の準備から携わるJMT・JCT・JDTは対象としない。

(2) 参加方法

① 「交替参加（2人1組）」

交替参加を希望する者は、全日程参加者と同等の業務が行えるように県連盟内で2人1組となるよう調整する。県連盟を超えて組み合わせができる場合には、それぞれの県連盟と調整のうえ申し込む。

国際サービスチーム員の組み合わせに際しては、性別・年代が同じになるよう配慮し、希望配属部署については、交替する両者で調整のうえ、同一部署で日本連盟に申し込む。医師・看護師等のように大会で必要とする有資格者・特殊技能者については、2人1組を必須とせず、前半もしくは後半のみでも参加可能とする。

前半参加者：7月25日（土）に会場着、8月1日（土）に会場発

後半参加者：8月1日（土）に会場着、8月9日（日）に会場発

② 前半参加・後半参加

交替参加で前半と後半の組み合わせができない場合には、いずれかでも受け付ける。ただし、部分参加者と同様に、奉仕日程別にチームを編成して必要部署へ配属するため、希望する部署に配属されないことがある。

③ 部分参加

(ア) 一般加盟員

大会に必要な運営業務のうち、短期間でも分担でき、日本連盟加盟員として大会全般を支援する業務に従事するために、5泊6日間を基本に大会運営スタッフ入場日から退場日までを5つの日程に分ける。部分参加を希望する者は次の日程を選択して申し込むが、奉仕日程別にチームを編成して必要部署へ配属するため、希望する部署に配属されないことがある。

A日程：7月25日（土）に会場着、7月30日（木）に会場発

B日程：7月28日（火）に会場着、8月2日（日）に会場発

C日程：7月30日（木）に会場着、8月4日（火）に会場発

D日程：8月2日（日）に会場着、8月7日（金）に会場発

E日程：8月4日（火）に会場着、8月9日（日）に会場発

(イ) 特殊技能者

医師・看護師のように交替参加の組み合わせが困難で、大会で必要とする有資格者・特殊技能者については、最短3泊4日～最長5泊6日の任意の日程による部分参加を認める。

③ 遅刻・早退

学生の試験期間や長期休暇等のやむを得ない理由により、全日程参加できない場合には、遅参・早退を認める。ただし、配属については、希望する部署ではなく遅参・早退に対応できる部署を大会本部で指定することがある。

遅参は7月29日（水）まで、早退は8月5日（水）からで最短1泊12日間（全日程参加の4分の3）とする。

9. 応募資格：

(1) 国際サービスチーム員（IST）

① 1997年(平成9年)7月26日以前に生まれた（大会開催時に満18歳以上の）指導者またはローバ

- ースカウト、ベンチャースカウト（英語または仏語で業務ができる者が望ましい）
- ② 応募時点で隊指導者基礎訓練課程（旧ウッドバッジ研修所）修了以上の指導者研修歴を持つ者
ただし、23WSJで活用できる特技により応募する場合は、応募時点で隊指導者基礎訓練課程（旧ウッドバッジ研修所）修了を必要としない（申込書の特技欄に明記する）
 - ③ 心身ともに健康で、長期野営に耐える体力があり、国際サービスチーム員（IST）の業務を担当するに適した語学力・技能・経験と人柄を有する者

10. 参加費：（5%割増し適用）

大会参加諸条件（ブリテン第2号参照）に基づき、第3次募集の支払日程には5%割増しが適用され、辞退に伴う補充についても、補充時期に応じた参加費が必要となり差額を徴収する。

国際サービスチーム（IST）の参加費には、参加者の参加費からスカウトのプログラム参加を除き、参加者の到着前の説明やトレーニング（役割の詳細なトレーニングを含む）、勤務時ではない時の活動プログラムを含めたISTの経験、7月25日の夕食から8月9日の昼食までの期間中の食事が加えられる。ISTが遅刻・早退する場合の参加費については、全日程の参加費が適用される。

日本からの参加者は、次の参加日程に応じた参加費に加えて、経済的に参加することが困難な国を支援し、より多くの国と地域からのスカウトが参加出来るよう「オペレーションきらら」を実施するため、一人あたり1000円を負担する。

- (1) 全日程参加 一人あたり105,000円
遅参・早退する者も、全日程参加の参加費が適用される。

- (2) 交替参加・前半参加・後半参加 一人あたり63,000円
前半参加者は7月25日の夕食から8月1日の昼食まで、後半参加者は8月1日の夕食から8月9日の昼食までとする。

- (3) 部分参加 一人あたり42,000円
部分参加者は、入場日の夕食から退場日の昼食までの15食を標準とする。

11. 派遣に要する経費： 23WSJ参加費に加えて、次の経費が必要となる。

(1) 派遣団諸経費

日本派遣団の参加スカウト、参加隊指導者、派遣団本部員、国際サービスチーム員（IST）、JDT等の大会運営スタッフは、一人あたり2万円を派遣団諸経費として納入する。

交替参加・部分参加する国際サービスチーム員についても、一人あたり2万円とする。

(2) 派遣団諸経費の内訳

大会参加費に含まれない、次の日本派遣団の経費に充てる。

- ① 平成27年からの新ユニフォーム（半袖上着、長ズボン、ベルト）※記章類は含まれない
- ② 派遣団員章、派遣団ネッカチーフ（一人2枚）、派遣団用帽子
- ③ 宿泊用テント（スカウト・指導者共に2人で1張の貸与を標準とする）
- ④ 日本派遣団・分団等の経費（会議費、支給品送料等）
 - * 参加者の集合地からジャンボリー会場への往復交通費は、大会参加費・派遣経費に含まれない。
 - * 派遣期間中の小遣い、参加隊の準備訓練経費、準備訓練会場往復交通費等に含まれない。これらは、個人の負担となる。

12. 参加申込み・派遣員内定：

- (1) 参加希望者は、各々の組織を通じて、所属県連盟の指定する期日までに所属県連盟に申し込む。

- (2) 県連盟から日本連盟への申込期日は、次のとおりとする。

第3次期日： 2015年（平成27年）5月8日（金）

- (3) 申込みにあたっては、23WSJ日本派遣団参加申込書（指導者・IST用、もしくはIST特例用）

および健康調査書の各一通を提出する。

(4) 日本連盟は県連盟の申込みを尊重し、書類審査を行い、原則として5月中旬に日本派遣団員の内定を行う。

13. 23WS J派遣に要する経費の納入：

日本派遣団員内定者は、大会参加費および派遣に要する経費を、県連盟で取りまとめて次の期日までに日本連盟へ納入する。

第3次の内定者については、内定者の辞退に伴う補充（交替）や、参加費や派遣に要する経費の返金は行われない。

第2次の日本派遣団員内定者 4月20日まで

第3次の日本派遣団員内定者 5月31日まで

14. 派遣員の内定と任命：

日本連盟は、参加内定者が準備訓練（隊・班訓練を含む）を終え、所定の手続きを完了した後に日本派遣団員として任命する。

参加内定者は必要に応じて予防接種（アレルギー等の事情がある場合を除く）を受けなければならない。

参加隊指導者、国際サービスチーム員を含む大会運営スタッフ、派遣団本部員は、出発前に大会が提供するセーフ・フロム・ハームに関する研修プログラムを修了しなければならない。

15. 参考（大会運営スタッフの構成と役割）：

大会運営スタッフは、今回募集する国際サービスチーム員の他、大会当日のみならず、事前から大会の計画と準備を担うジャンボリー・デリバリーチーム（JDT）、ジャンボリー・コアチーム（JCT）、ジャンボリー・マネージメントチーム（JMT）等により構成される。JDTは、大会各部のスタッフとなり、大会期間中はISTのまとめ役となる。JCTは各部の部長、副部長等主要スタッフとなるとともに、部を超えて大会の運営を担当する。JMTはJCTのまとめ役として大会運営に責任を持つとともに、世界スカウト機構（WOSM）との連絡・調整を進め連携をとる。JCTとJMTは、WOSMガイドラインに沿った準備が求められる。

以上